

平成 24 年 9 月 25 日

津市総合計画審議会  
会長 武田 保雄 様

美里地区地域審議会  
会長 川 口 幸 治

津市総合計画後期基本計画の策定に係る意見・提言について

現在、市で進めている平成 25 年度から平成 29 年度を計画期間とする津市総合計画後期基本計画の策定に係り、本審議会では今後の地域のめざすべき方向性等について協議を行い、以下のとおり、同計画の策定に当たっての当地域からの意見・提言をまとめましたので、同計画に係る津市長への答申においては、十分尊重していただきますようお願いいたします。

記

- 1 当地域がめざす姿として、次の目標を後期基本計画に明記されたい。

【目標】

美里地域においては、旧美里村時代からの大きな課題の一つとして、津市水道局所有地の有効活用について検討がなされており、水源涵養機能を保全しつつ住民の憩いの場・交流の拠点としての活用が期待されています。

その実現のため、「美里水源の森」として、具体的な整備計画に基づき長期的な視野にたった取り組みが求められる中で、その場所が特に子どもの「学びの場」、「体験の場」、「交流の場」そして「遊びの場」となるような内容を主たるものとして整備を進めていき、そこで子どもが自発的に、水の大切さ、いわゆる森の大切さなどを体験し、学んでいくことで、次世代を担う子ども達が健やかに育つ場・「子育ての場」となるようにしていく方向での活用が望まれます。

このように、まず美里水源の森を「子育ての場」として位置づけ、ここが当該地域の地域づくりの一つの核となり、豊かな心の育つ町として地域全体で「子育て」を支援していくように地域の人材との連携を図るとともに、これらを含めた恵まれた自然環境や地域資源を積極的に活かし、地域内外への幅広い広がりをもとに交流人口の増加を図る中で、多様なアイディアを活かした輝く地域づくりを進め、緑と水と文化にまつまれた心育む「美しい里」づくりをめざします。

- 2 地域課題については、次の点に留意されたい。

(1)津市における中山間地域共通の課題に対して、効果的な対応策を望むものであります。

## ○地域コミュニティの活性化に向けた方策

超高齢化社会、人口減少など、これまでに経験のない新たな時代を迎え、地域を取り巻く環境も変化しています。新たな時代に即した地域コミュニティ施策のあり方、活性化策などについて、あらためて検討していく時期がきています。地域住民がみんなで助け合い、地域の安全・安心の確保に重要な役割を果たす地縁的なつながりが希薄化し、自治会等のコミュニティ活動が停滞することで、地域活動、地域行事に支障をきたすなど、様々な社会問題が顕在化し深刻化する中で、地域の課題を認識・共有し、それを自主的・主体的に解決する力（地域力）の醸成・向上を図る必要があります。

## ○地域産業を取り巻く厳しい状況への対応

人口減少を起因として、地域の基幹産業である農林業の担い手の高齢化及び若者の農林業離れによる後継者不足が進み、結果として、耕作放棄地の増加や森林の荒廃が進み、農林業が衰退しつつある状況であります。

また、獣害対策として予防的に電気柵等による被害防止対策、捕獲等による個体調整が行われてはいますが、猟友会の会員の減少や高齢化により有害鳥獣捕獲等を効果的に実施していくことが年々難しくなっており、防除対策は実施しているものの、イノシシ、シカやサルによる農作物等の被害が年々深刻化しています。

このような状況に対して、農地・森林の保全や地域産業の維持のために、担い手の確保に向けた施策や効果的な獣害対策などを早急に講じる必要があります。

当地域に限らず高齢化等の進む中山間地集落においては、個人の営農維持が困難な地域も多く、集落営農や地域を越えた単位での農業の維持拡大を図ることが考えられます。

さらに、地域の維持のためには、集落営農組織における経営多角化の導入を進め、農林業以外の新たな収入手段の確保も急務でありますので、集落営農組織の方向性の検討を速やかに行う必要があります。

(2)合併合意20事業について、着実な遂行を期待するものであります。

○美里水源の森整備事業については、「子育ての場」として位置づけ、後期基本計画の目標に掲げて、美里水源の森整備計画に向けて取り組まれます。

○上原新開線道路整備事業については、旧美里村から旧久居市を繋ぐ路線として、青山高原への観光ルートとなる路線であります。平成20年の新長野トンネル開通に伴い国道163号の大型車両の交通量が増大し、南長野地内の道路路面の沈下が激しく、一部の区間において路側の決壊や足坂地内の法面の亀裂など、今後災害等が発生した時には道路が寸断される恐れがあり集落の孤立化が懸念されます。このような状況の変化等から、国道163号のバイパス機能を持たせた生活路線にとの強い地元要望もありますので、当初計画していた経路

を変更して（仮称）南長野新開線として、地域要望にそった路線計画とするよう計画を変更していただきたい。

3 地域かがやきプログラムについては、次の施策を掲げられたい。

- (1)美里水源の森に関して、水源涵養機能を保全しつつ住民の憩いの場・交流の拠点、「子育ての場」となるエリア整備に向けた施策
- (2)前期基本計画においては安濃地域が主体となった事業であるスポレクチャレンジ事業に関して、より高い事業効果が得られるよう、北部エリア内の連携を図り、各地域に適応した施策
- (3)自然・歴史ウォーキング事業に関して、ボランティアガイド会との連携や新たな資源の掘り起こしを視野に入れたコース設定のための施策及び地域資源の活用と魅力あるものに育てるため、ボランティアガイド会に対する担い手の育成・支援の施策
- (4)自慢できる美里地域づくり事業に関して、美里地域の知名度を高めるために、地域特性を活かした活動への支援を拡大していく施策
- (5)美里夏まつり事業に関して、地域内連携及び交流人口の拡大を図る施策
- (6)地産地消施設に関して、その機能拡充を支援し、各施設間が効果的に連携強化することにより地産地消の推進を図る施策
- (7)農林業の振興に関して、高齢化や獣害をふまえた中山間地域に適応した施策及び特産品のブランド化の推進を図る施策（生産物の流通経路の確保、小規模経営者向けの機械リース、土地に適応した農作物の選定、相互理解のための都市と農村との交流等に資する施策）
- (8)以上の施策に必須となる地域コミュニティの活性化に資する支援制度や施策